

# 潮流

鳥取県中部医師会は昨年度に引き続き、たばこの被害から住民を守る第二回中部住民健康フォーラムを開催しました。昨年度は、中部地区をたばこ被害から守り、日本一きれいな空気と美しい都市づくりを目指し、子どもたちに無煙環境を推進することを宣言し、



鳥取県中部医師会  
NPO法人未来副理事長  
鳥取県中部医師会副理事長

松田 隆

①全地域で路上喫煙を禁止  
②公共施設・企業内は敷地内禁煙にする  
③子どもたちへの防煙教育の徹底  
④医師会員の喫煙0%への推進

基調講演では中部医師会 たいという子どもたちが減っていることも報告され、さらには四月発売予定の経口禁煙補助薬への期待が寄せられました。また、先日映画「シッコ」上映後のアンケートで、すべての路上で禁煙すべきと回答された方が71・2%、今年も中部地区のきれいな空気を吸いながら、風を感じて歩く第八回日本海未来ウォークが五月十日、十日に開催されます。十日には大韓ウォーキング連盟の李康玉教授の子どもの足の発達とウォーキングについて

## 路上喫煙禁止条例

開催にあたって、よりよい医療をこころざし(志)、医療の連携を図る医師会、歯科医師会、薬剤師会が構成される三志会の協力が得られたことは、住民の健康を守る意味で意義深く、今後とも連携していきたいと考えています。

開催にあたって、よりよい医療をこころざし(志)、医療の連携を図る医師会、歯科医師会、薬剤師会が構成される三志会の協力が得られたことは、住民の健康を守る意味で意義深く、今後とも連携していきたいと考えています。

また、たばこ税収からの試算で倉吉市の喫煙者は約10万人で、昨年は約八百五十人が禁煙したことになり、子どもたちへの防煙教育によって、たばこを吸い

たいてい子どもたちが減っていることも報告され、さらには四月発売予定の経口禁煙補助薬への期待が寄せられました。また、先日映画「シッコ」上映後のアンケートで、すべての路上で禁煙すべきと回答された方が71・2%、今年も中部地区のきれいな空気を吸いながら、風を感じて歩く第八回日本海未来ウォークが五月十日、十日に開催されます。十日には大韓ウォーキング連盟の李康玉教授の子どもの足の発達とウォーキングについて

静岡市で歩きたばこの受動喫煙で喘息発作が起こった中学生が議会に訴えて条例ができたように、今後倉吉市でも市民運動として住民の健康を守り、また、海

(倉吉市)